新型コロナ 影響続く

新入生・体育会・就活 現場の声

新型コロナウイルスの影響で、慶大では全ての授業がオンラインで行われている。新生活、体育会、就活など、それぞれの課題を抱える塾生に話を聞いた。

引っ越しにもコロナ禍

法学部政治学科1年の女子学生は、この春、徳島県の実家から上京。感染リスクを抑えるため、親と運転を交代しながら約7時間かけて車で引っ越した。生活用品や家具などのほとんどは、通販でそろえたという。「同じ学校から慶大に入った人がおらず、課題などについて相談できる友人がいない。気分転換がしづらい状況下で、慣れない家事をしながら、大量の課題をこなすことは精神的にも体力的にもつらい」と、勉強面にも生活面にも不安を募らせる。

上京延期　実家で受講

授業やサークル活動の開始まで、上京を見送った人もいる。福岡県出身の経済学部1年の女子学生は「4月上旬に上京する予定だったが、首都圏の感染者が多く、地元にいた方が感染リスクは低いだろうと思った。取りあえず上京する事も考えたが、飛行機や新幹線がかなり減便されており、簡単に実家に帰れない可能性があったので、上京を延期した」と話す。

毎日、課題や授業に関するお知らせがたくさん届く。課題の提出期限を見逃してしまったこともあると彼女は打ち明けた。

オンライン上のサークル選びは、雰囲気が分かりにくく、難航。キャンパスに通えるようになったら、「友達とひようう(日吉商店街の通称)でご飯を食べたい」と胸を膨らませる。

体育会にも影響

新型コロナウイルスは、慶大の体育会活動にも深刻な影響を与えた。

体育会バドミントン部では、4・5月に開催予定だった春のリーグ戦は全て中止になった。今後の大会も未定だという。所属する法学部政治学科2年の男子学生は「体育館が使用できないため、自宅で筋トレとランニングをするしかない。早くバドミントンをしたい」と胸の内を明かす。

加えて、同部では新入生に向けたオンライン説明会を実施した。積極的に広報活動を行い、新入生のリクルーティングにつなげる狙いだ。

一方、外出自粛要請を受け、新たな試みを行う部活もある。体育会射撃部は、自宅でシミュレーターを使用した練習を取り入れた。6月中旬の関東学生スポーツ射撃選手権春季大会は開催未定だが、在宅トレーニングで大会に備える。

所属する法学部政治学科2年の男子学生は「日吉記念館に新しくできた実弾ライフルの射撃場を早く使用したい。新入生にも早く射撃を体験してもらいたい」と心境を語った。

就活の在り方にも影響

就活の在り方は、新型コロナウイルスの影響で転換点を迎えている。

これまでは対面で行われていた企業説明会や面接が、オンライン上で進んでいる。学生と企業双方が対応に追われるかたちだ。

「オンライン就活」にはメリットもある。商学部4年の学生は、「移動時間や費用といったコストがかからない。そのおかげで、面接会場間の移動を考慮せずに面接の予定を立てることができる」と話した。

就活生が気をつけるべきことは何だろうか。就活情報サイトを運営する株式会社マイナビは取材に対し、「ウェブ上で良質な情報を収集すること」だと語る。「情報ソースを見極めた上で確かな情報を入手し、前向きに行動していただきたい」とした。

また就活を控える慶大生に対し、「誰もが予想しなかった未曽有のコロナ禍の中、様々な不安を感じているかと思います。将来の夢のため、キャリアのため、歩みを止めず就職活動を進めてください」とエールを送った。

(浅川力哉、塚原千智、村瀬巧)

おことわり

慶應塾生新聞会は、取材・記事の執筆・紙面の編集など、全ての作業をオンラインで実施いたしました。ご協力いただきました取材先の皆様、印刷会社の皆様に、心より感謝申し上げます。

完成した紙面は、学内施設への立ち入りが可能になり次第、配布を開始する予定です。

慶應塾生新聞会

最新の情報は
本紙ウェブサイトを
ご確認ください

9月入学 慎重な判断で

慶大 総合政策学部
中室 牧子教授

なかむろ・まきこ
慶大総合政策学部教授。厚生労働省統計改革検討会委員等も兼任。専門は、経済学の理論や手法を用いて教育を分析する「教育経済学」。

新型コロナウイルスの影響を受けた9月入学の是非について、政府や教育界、経済界など幅広い分野で議論を呼んでいる。そもそも9月入学にはどのようなメリット・デメリットがあるのか。その上で政府にはどのような対応が求められているのか。慶大総合政策学部教授で教育経済学者の中室牧子氏に話を聞いた。

なぜ9月入学が議題に

新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校によって、多くの公立学校では年間の学習過程をこなせない恐れが出てきている。そこで、入学時期を半年遅らせることで学習過程の遅れを解消させる案が浮上した。また欧米諸国では秋入学が主流であることを受け、9月入学を導入することは、日本の社会の国際化や人材育成の面で利点があるとされている。

9月入学は国際化につながるか

確かに一般的な9月入学には日本の教育の国際化を強めるという利点がある。現在高等教育機関に在籍している学生のうち、海外への留学者の割合は、ほかの先進国と比較してかなり低い。留学生が少ない理由については、「入学時期」が決定的な要因であるとの解釈もできる。海外の制度に標準を合わせた秋入学を導入すれば、日本の教育の国際化が期待される。

しかし新型コロナ対応による入学制度が特異であるのは、入学を「半年早める」のではなく「半年遅らせる」という点である。海外と比して1年遅れの入学となれば、日本における国際化を強めるということには全くならない。

休校による学力への影響は

休校期間が長引くことで、学力の低下や学力格差の拡大という問題も生じる。

まず、長期にわたる休校は成績や進学率に悪影響を与えることが分かっている。ベルギーの研究によると、臨時休校を2カ月経験した生徒らは高校までの留年率が高まり、大学での成績も低下したことが報告された。また休校期間のオンライン授業によって、学力の格差を拡大すると示す研究も存在する。さらにノルウェーの実験によれば、入学時期を遅らせ、就学年齢が高くなると、男子の18歳時点のメンタルヘルスに問題が生じたり、女子の10代での妊娠が増加したり、30歳時点での賃金が低くなる確率が高くなるという。

つまり、長期の臨時休校は、成績や学力格差に影響を与えるだけでなく、就学時に休校を経験した世代が長期にわたって賃金や精神面での悪影響を受けることを意味する。新型コロナウイルスによる長期的な休校を経験し、9月入学による入学年齢の引き延ばしが検討されている日本においても、同じようなことが起こると想定できる。

根拠に基づいた政策を

このような科学的根拠を踏まえると、9月入学の議論を急ぐより、長期的な休校による悪影響を軽減するために、なるべく早期に学校を再開させる努力をすることが重要であろう。中室氏は「9月入学は生徒への長期的影響を踏まえて検討される必要がある。また政策提言は推測ではなく、科学的根拠に基づいた上でなされるべきだ」と話した。学習遅延を理由に入学を先延ばしにするのではなく、長期的な影響を鑑みた上で方針を固める姿勢が求められる。

(南部亜紀)

科学的根拠に基づく政策を

旅する映画館
café de cinéma

「旅する映画館 café de cinéma」は、仲間同士で語らいながら映画を楽しめる空間として注目を浴びている。発案者であるchappyさんに話を聞いた。

「旅する映画館」とは

大きなスクリーンで上映される映画を鑑賞しながら、食事や会話を一緒に楽しめる空間だ。一つの上映に10~15名ほどの参加者が基本であるが、時には50名以上の大規模上映が行われることもある。

30~40代を中心に、学生をはじめとする若者から、アーティストや作家など、参加者の層は幅広い。「機会を逃した映画を観るため」「上映イベントそのものが好きだから」「会場(お店)でイベントがあることを知り、興味が湧いたから」など、「旅する映画館」に訪れる理由や目的は千差万別である。

映画鑑賞の意義

chappyさんは映画鑑賞に三つの意義があるとする。一つ目は、自分の視野を広げたり、芸術を直感的に感じさせてくれたりすることだ。二つ目は、映画を通してコミュニケーションをより充実させてくれることだ。三つ目は映画を観る人の心を躍らせてくれることだ。落ち込んだ気持ちを前向きに、上を向いて現実と向き合う勇気をくれるのである。

「旅する映画館」の魅力

インターネットを通じて、いつでもどこでも映画を鑑賞できる時代。だからこそ、多くの人と映画を鑑賞することで色々な角度から映画を楽しんでもらうことを大切にしている。さらに、お客さん・店のスタッフ・上映スタッフなど、多くの人がつながり合うことで映画を含めた「時間」を楽しむ空間を作り出している。

また、「旅する映画館」はただ単に映画を鑑賞するだけでは終わらない。毎回、上映の際には映画のコンセプトに合わせた雰囲気づくりや映画に登場する食べ物が用意される。目で見て、匂いで感じ、舌で味わう。「スクリーン上のシーンと重なった瞬間の料理のおいしさは何倍にもおいしく感じる」とchappyさんは話す。「旅する映画館」は五感で感じることを大切にしているのだ。

コロナに負けない

新型コロナウイルスの拡大予防で、映画館に人を集めることはできない。だからこそ、「前向きに映画を観る機会を創り出したい」と、オンラインでの上映会を開催している。首都圏外からの参加も可能で、場所や時間に縛られない新たな映画館のスタイルを創り上げた。この取り組みは自粛期間が過ぎても続けていく方針だ。

「人と人のつながり」に重点を置いた「旅する映画館」に足を踏み入れれば、そこにはほっと一息つける温かい場所が待っている。映画の新しい時代もすぐそこにあるのかもしれない。

(古嶋凛子)

「旅する映画館」上映中の様子(提供)

外出自粛でも映画楽しむ

学生図鑑
www.gakuseizukan.jp

喊声

新型コロナウイルスへの不安が急速に広がっていった3月、知り合いの高校生がインスタグラム上で「空の写真展」を開催した。「最近、なかなか外出できず、空を見る機会が少なくなったと思うんです。こんな時だからこそ、お気に入りの空の写真をみんなで共有して展示して、たくさんの人に癒やしを与えたいと思って始めました」。こう話してくれた彼女の姿と素敵な想い、そしてアップされた美しい空の写真に、ひたすら感動した▼私は空が好きだ。空は日や時間帯によって全く違う表情を見せてくれる。そして、時が流れてさまざまなことが変わっていく中でも、空は変わらずずっとそこに存在している。常に変わらないが、常に変わっていく空は、この世界的な流行と混乱をどう見ているのだろうか▼誰も予測していなかった未来が訪れている。今までの「あたりまえ」が崩れ、色々なことがめまぐるしく変わっていく。オンラインでのコミュニケーションが増え、大学もオンライン授業に切り替わった。どこへいくにもマスクをして、ソーシャルディスタンスを守って行動しなければならなくなった。ウイルスとの戦いがこれからもずっと続くと思うと、正直少し不安になる▼しかし、人間は思っているよりも強くしぶとい。新たな環境をポジティブに捉えて、自ら適応していこうと踏ん張る人がたくさんいる。多くの人がこの大きな変化に柔軟に対応しているのをニュースや街中で感じ、とても勇気づけられた。3月に写真展を開いた彼女もその一人だ。彼女のように、どんな変化に対しても前向きでありたいと強く思う。(常石朋恵)

慶應塾生新聞

発行人　安田　淳
編集人　桐原　龍哉
　　浅川　力哉
　　太田　直希
　　中西　美結
　　村瀬　巧
　　濱田　安里子

〒108-0023 東京都港区芝浦2-8-14第2AKビル4階B
TEL 03(3454)7966
FAX 03(6435)2573
http://www.jukushin.com/

予約購読料
1年分11回3000円(送料込)
4年分44回9600円(送料込)
振替00150-0-148101
次号は7月9日発行(予定)

© 慶應塾生新聞会2020

横濱眼鏡 YOKOHAMA OPTICAL
メガネ・コンタクト 正規ブランド取り扱い店
YOKOHAMA_OPTICAL
GUCCI GIORGIO ARMANI MARC JACOBS MAX&Co etc..
TEL 045-562-0294 日吉駅から徒歩1分！
商店街ドトール斜め向かいです。
Free eye examination available in English.
Special Discount Ticket -¥18,900引きクーポン
眼鏡一式お求めの際¥8,900相当を無料でご提供します。(お現金のお支払いのみ適応)
2020年6月末まで有効

家庭教師 アルバイト募集
時給 1,500円～1万円
トライ・学研など、最大10社の大手家庭教師会社に
一括登録
▼PC・スマホ・携帯でアクセス！
一括登録ナビ 検索
http://www.kbaito.net/

塾生の憩いの場
山食
歴史と伝統 手作りの店！
MENU 大人気!カレーライス \320/大\370
パーティーも出来ます
慶應義塾大学 三田キャンパス内
TEL・FAX 03(3453)5971

プチプラのあやさんに聞く 大学生のためのファッション講座
塾生のギモン 第2回 アルバイトのこと、知っとかないと！
難民問題を考える ～6月20日は「世界難民の日」～
CAMPUS LOCAL 経済学部経済学科3年 高野真子さん

RBM Residence Building Management
▲21卒 採用情報
レジデンス・ビルディングマネジメント株式会社
不動産の総合プランナー
企業・ワーカーの良きパートナーとして、オフィスビルやレジデンスを通じて、
安全、快適、そしてクリエイティブな環境づくりの実現を目指し、
RBMは日々挑戦を続けています。